

★米国はなぜベネズエラの内政に介入するのか＝モンカダ国連大使

ベネズエラのモンカダ国連大使は4月10日の国連安保理特別会合で、ペンス米副大統領の演説に反論し、米国はいかなる権限にもとづいてベネズエラの内政に介入するのかと告発した。以下は国連ニュースが伝えた同大使の演説要旨。

私は、米副大統領がのべた嘘と誤った情報に応えたいと思います。米州機構に関しては、それはベネズエラの代表を追放したのではなく、(グアイド暫定大統領が任命した)国会の代表を(米州機構代表に)含めることを承認したものであります。

米国は、国連を友人のクラブとみなし、人種差別的なモンロー・ドクトリンを推進したいと考えていますが、それは国際法上の根拠を持たないものであります。米国が国際社会をだまそうとしても失敗するでしょう、私は副大統領が「すべての選択肢がテーブルの上にある」と言って戦争の脅をかけることがどうしてできるのか、法的な根拠を示すよう求めます。

人道状況は解決されなければなりません、診断は正確でなければなりません。今日、(理事会でベネズエラ情勢を説明した)3人の説明者のうち誰もこの部屋にいる象(米国)にむけてものを言わなかったことを指摘したいと思います。

(ベネズエラの)事態は、経済を破壊させて社会的な爆縮を引き起こすことを狙った米国と英国による計画の直接の結果です。それは保護責任を装って軍事介入する口実に使われかねません。(こうしたやり方は)人道にたいする罪と同義であり、かいらい政権の押し付けの背後にはモンロー・ドクトリンという人種差別的なイデオロギーが隠されています。

政府が自国民を殺害しているのが本当なら、なぜ米国と英国はこんなに大きな規模で(ベネズエラに)苦しみを引き起こしているのでしょうか。銀行、保険会社、海運業界が(ベネズエラにたいする)大量破壊兵器として使われています。そのような不当な行動は犯罪政策であり、ベネズエラの資源の略奪、篡奪と密接に結びついています。(ベネズエラが保有する)製油所からの収益が、トランプ政府と親しい石油会社の負債の支払いに使われています。

イングランド銀行は(ベネズエラ政府が預けていた)12億ドルの金塊を盗みました。資金洗浄を防ぐためだというのは道理にあいません。イングランド銀行の

信頼性は損なわれました。英国は自らの植民地時代の海賊行為の遺産に依拠しながら、トランプ大統領の植民地主義的政策に加担しているのです。安保理がもっと（ベネズエラの）情報を得ていれば、世界保健機構（WHO）のような組織との協力で、はしかの予防接種が著しく改善され、ワクチンがベネズエラで利用可能であることがわかるはずでした。

ベネズエラへの戦争を仕掛けていている人々は、その国民の精神の強さを過小評価しています。彼らは誤算しています。人々はますます強い決意で集団的な苦しみにも耐えています。軍は崩壊していません。暴力の例がいくつかあったことは認めますが、内戦にはならないでしょう。ベネズエラはどうやって平和的に抵抗するかについて世界に模範を示しています。米国の関心事は人道的援助ではなく、領土保全を侵害する秘密作戦であり、それには軍事介入の絶え間ない脅しが伴っていることを強調したいと思います。

安保理事会のメンバーは、憲章の下での理事会の責任を思い起こすべきです。米英両国がベネズエラに対する経済破壊計画を理事会の同意なしに採用しているのを許しているのはなぜか、理事会メンバーは、その法的根拠を説明するよう求められています。

米国はいかなる法的権限にもとづいて、ベネズエラと合法的に取引している国に2次制裁を課しているのか、軍事力行使の脅しをかけているのか、その富の収用を許しているのか、さらに国連憲章をあからさまに侵害して内政に介入しているのか。それはどのような法的権限なのか。

問題の解決には、ベネズエラから盗まれた資金の返還が必要です。人々に課された封鎖の解除と、インフラへの破壊行為の停止、軍事介入のおどしの停止が必要です。私たちはこのドナルド・トランプによる戦争を止めなければなりません。ベネズエラがもつ平和への権利を確保するよう理事会メンバーに要請します。

（了）